

平成 30 年 11 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

11月の業種別景況の前月比DI値は14業種の内、好転が4業種、昨年同等が6業種、悪化が4業種となり、全体の景況感DI値は10月に比べ好転した。

建設業では、7月の豪雨災害の復旧工事で工事高が増加しているとの報告がある一方で、サービス業では、例年に比べ冬物のクリーニングの出具合が少ないとの報告があった。

山口県の中小企業は、多くの業種で人手不足が深刻な問題となっている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 30 年 11 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 $(\langle \text{好転} \rangle - \langle \text{悪化} \rangle = \langle \text{DI 値} \rangle)$

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：25.0% DI 値：▲17.5% ポイント

売上高 $(\langle \text{増加} \rangle - \langle \text{減少} \rangle = \langle \text{DI 値} \rangle)$

前年同月比は、増加：25.0% 減少：27.5% DI 値：▲2.5% ポイント

収益状況 $(\langle \text{好転} \rangle - \langle \text{悪化} \rangle = \langle \text{DI 値} \rangle)$

前年同月比は、好転：11.3% 悪化：27.5% DI 値：▲16.2% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 30 年 11 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲28.6	0.0	▲33.3	▲50.0	▲50.0	22.2	0.0	▲15.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲20.0	▲22.2	▲75.0	▲18.2	▲10.0	14.3	▲100.0	▲19.2	▲17.5
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	食品表示義務、HACCP 導入、消費税増税と、来年菓子業界には大きな変化がある。廃業のないよう努めたいところではあるが、来年どうなるのか一同不安である。組合としても適切な助言をしていかねばならず一層の情報収集に努めている。	パン・菓子製造業
	売上は、対前年同月比で▲3.6%。比較的天候も良く売上アップを期待したが、若干のマイナスとなった。平日の売上は概ね順調に推移しているが、土日祝の売上がやや伸び悩んでいる。来年10月の消費税増税に伴う景気施策のうち、「キャッシュレスで5%還元」が悩ましい。すでにレストラン2店舗はカード決済可能となっているが、物販については集中レジ方式ではなく個店ごとの15台個別レジなので、キャッシュレス化の難易度が非常に高い。萩税務署に依頼して組合員対象の消費税増税に関する勉強会を開催したが、イートイン・テイクアウトの実運用が心配である。	水産食料品製造業 萩市
	塩干珍味などの食材の動きが少ない。原材料の値上げがじわじわと影響している。8月、9月の週末ごとの台風等の影響で消費が伸びず、豪雨の影響で物資の配送に大きく問題が起こり、想定外の配送料の増加が起こった。消費が伸びない感じがする。	水産食料品製造業 下関市
	干ばつにより野菜等の収量が下がるなど、天候リスクが例年に比べ高かった。地球温暖化による気候変動により、予測できないような事態が起こっている。また、周防大島では断水により企業活動に影響が出るなど、予測不可能な危機に遭遇した際の対応について、本格的な検討が必要となる。また、今後は二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。	精穀・製粉業
繊維工業	今後の人材確保に不安がある。	外衣・シャツ製造業 山口市
	2019年夏物の生産準備に入り、多品種の引き合いが増えてきた。従来からのアイテムに留まらず、新しい生産体制にチャレンジする工場も見られる。身になるまでに多少の時間を要するが、今後の対応、技術力により、メーカーからの引き合いも増え、仕事量の安定確保が期待できる。	外衣・シャツ製造業 萩市
	9月～10月にかけて材料が少なく、11月中頃より好転傾向にあるが、まだ平常時の90%程度である。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市

木材・木製品	ハウスメーカーの家ばかり建つので、廃業する組合員（製材所）もあり、厳しい状況にある。	製材業・木製品製造業 岩国市
	秋の需要の盛り上がりが見られない。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	東京方面からの受注が増加している。折込チラシの受注は減少している。	印刷 下関市
	印刷物件が減少する中、各社との見積競争が過激化し、受注価格は下がる一方。	印刷 山口市
窯業・土石製品	11月の出荷量は （平成29年11月） 骨材152%、路盤材107%、再生材80% ↓ （平成30年11月） 骨材96%、路盤材111%、再生材96%	砕石製造業
	出荷量は、前月比108%、前年同月比86%、累計前年同月比91%。平成30年度は前年度比約85%と厳しい見通しとなっている。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン価格は安定しているが、値上げの動きがある。	生コンクリート製造業
	最近、組合としての動きは全くない。いかに組合員が集まる事業（講習会・研修会）を行うかが直近の課題である。	石工品製造業
	萩市内の萩焼小売店の売上は、昨年同月と比較して横ばい。観光客の傾向として、土日は賑わい、平日は閑散とした状態。また外国人の割合が多くなっている。ギフト・卸関係・百貨店の受注は、10%ダウン(収益性の低いものについての受注を見直した結果)。浅草アンテナショップ「萩の風」の売上は、11月3日～4日に東京浅草の「まるごとにつぼん」において開催されたイベント「萩の風」物産フェアの効果もあり、昨年同月比で約35%アップとなった。当組合員も3名参加し、萩焼の展示即売を行った(地酒やかまぼこなど萩の特産品も併せて販売された)。萩焼のロクロ実演を行い、観光客(特に外国人)に好評で、ロクロ体験の希望者へ指導も行った。	陶磁器・同関連製品 製造業
一般機器	繁忙期が過ぎ、周南コンビナート内での仕事量は落ち着いていた。業種的に県外での仕事も多いため、周南地区近郊で仕事量が落ち着いていた中、県外ではまだ仕事量も多く、今月は組合全体的に県外受注が多くなってきている。	一般機械器具製造業 下松市
	前月と同様、景気は安定して推移している。全般に変化はなし。相変わらずの人手不足で受注の機会損失が続いている。自動車関連は好調。設備関係は、県内の大型構造物が順調。国外は、年明けまで中国・東南アジアが順調。	一般機械器具製造業 防府市

	<p>機械検査、機械加工関係、食肉加工、惣菜、自動車関係等外国人技能実習生を入れている全ての職種で業績は好調。残業も多い。法律の遵守を指導。制度改正に伴う3号移行者の入国も順調。拡大枠の利用についても順調で、今後とも増員の傾向にある。職種を問わず、大学卒の技能者の受入相談が増えてきているが、希望される人材の確保が難しい。介護の受入についても態勢が出来たので、人材の確保に努めている。来年4月の新制度の創設について、多くの企業から問い合わせがあるが、詳細不明のため苦慮している。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>前月より好転の傾向。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	<p>産業プラント部門の取扱製品の変更により、今後作業量が不足する可能性あり。但し、当組合全体への影響は軽微。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>いりこの売上と在庫は増加したが、収益は厳しい。</p>	乾物卸売業
	<p>ふぐのシーズンであるが、天然ふぐが不漁であり、売れ行きも悪い。今年は暖冬とのことなので、ふぐの売れ行きは悪いまま終わる可能性もある。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>平年並みの気温になり、冬物商品の動きが安定。燃料も下がりだし、収益に期待。</p>	各種商品卸売業
小売業	<p>気温の低下とともにクリーム・美容液などの高額商品が売れている。12月に発売されるクリスマスコフレなどの予約活動も行っている。資生堂のディシラ（11月30日販売終了）取扱店では、同程度の価格帯のブランドにスイッチし、年末商戦で売上を伸ばしたい。</p>	化粧品小売業
	<p>祭や選挙などのイベントが終わり、市況や経済が正常化した模様。年末景気を見据えた売出しが加速し、消費動向も好転。小売業、サービス業は良化した。行楽やレジャーも好天に恵まれた。一方で、周防大島の大島大橋の船舶衝突事故は、岩国市内から近距離でもあり、物流や経済の影響が見られた。岩国駅前商店街に限れば、相対的に良化。この景気感を年末商戦へ繋げていくことが課題。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>11/23～11/25の3日間、イベントを実施し、通常より人通りが増え、売上にも影響があった。ボーナス時期となるので、収益につなげたい。</p>	各種商品小売業 山口市
	<p>「れとろまつり」「長府時代祭り」が開催され、来街者数は増加したが、買い物客数の増加には繋がらなかった。平日の午後は買い物客がまばらな状態である。</p>	各種商品小売業 下関市
	<p>客数、売上とも前年を下回る状況。</p>	各種商品小売業 長門市

商店街	土日祝の客数は確保できているが、平日の客数が減少。客数の減少は客単価でカバーしているのが現状。業態により、売上確保に差が生じている。採用難で、募集しても問い合わせが来ない。	山口市
	年末に近いが、個人消費は相変わらず厳しい。	宇部市
	商店街のイベントがほぼ終わったが、期待していたような賑わいにはならなかった。この状態での消費税増税を不安視する声があちこちで聞かれる。市に相談したが、商店街のこれからの方針と具体策の良い案がでないのが実情で、苦慮している。	萩市
サービス業	11月は例年ならゆっくりしているが、今年は後半から忙しくなっているので、12月初旬がスローペースになるのではと懸念している。	美容業
	景気回復の兆しがなく、減少傾向。	理容業
	自動車整備事業者にとって、車検台数の減少は工場の経営に大きく影響を与えることになる。昨年の9月以降から過去のエコカー補助金等の影響により、車検台数が大きく対前年割れをしていたが、ここに来てようやく持ち直してきており、この状況が長く続くことが望まれる。	自動車整備業
	人口減少を感じる。	スポーツ・健康教授業
	資材の値上げが続いている。価格に転嫁していかないと、利益の確保が難しい状況となっている。冬到来で、着る前にクリーニングという流れがここ数年出来てきているが、例年に比べ、出具合が穏やかな状況になっており、各店売上減少に頭を悩ませている。	普通洗濯業
	対前年同月比で若干の売上減少。	旅行業
	宿泊者数は対前年同月比で96.8%、売上は対前年同月比で98.3%と前年割れ。昨年はデスティネーションキャンペーン効果で107.6%の伸びを示したが、今年度は花博が11月4日に閉幕しており、アフターキャンペーンが継続しているが集客につながらなかった。	旅館業 山口市
	施設利用者が伸びず、売上高の減少、資金不足が続いている。	旅館業 長門市
	7月の豪雨災害によるキャンセルがあったが、好天に恵まれ取り戻すことができた。	旅館業 下関市
	イベントの開催により、売上増の店と、人の流れが変わり売上減の店とあった。年末に向けて人手不足が心配である。	飲食業
建設業	中電への工事申請355件（当支部分283件）、前年同月145件（同116件）。太陽光発電への申請112件（前年26件）オール電化申請174件（前年71件）。LED街路灯への切り替え・新規申請32	電気工事業

	件（前年28件）であった。売電価格の引き下げ前の駆け込み受注で、太陽光発電の申請が急増した。	
	工場の増設やマンション建設は好調だが、全体の工事量は低下している。技能者不足に対応して、建設現場における技能者の稼働を少なくする工法の採用が増えている。	左官業
	周南市庁舎や徳山駅の工事の影響か、例年よりも仕事量が少なかった。今年度の工事の受注はほぼ終わった。	管工事業
	手持ちの工事量は確保しているが、それをこなすだけの職人が不足している。新築住宅の瓦採用件数は、依然として減少傾向にあり、金属屋根材の物件が増加している。副資材の値上げの動きがあり、メーカーも瓦の値上げを通告してきている。今後、販売価格の改定をせねばならない時期にきている。	屋根工事業
	年内完成工事がピークとなり、各現場では人手不足との声が聞かれた。この先12月にかけては、公共工事第1弾の山口市内小中学校の工事が重なってくるので、1月中までは学校関係、その後からは公共工事第2弾が始まってくる。年度末完成工事の工程調整は、少人数で各現場に割り振り、一応の流れは出来たように思うが、現場の実際の流れとどの程度合致するかが不安である。	内装工事業
	大島大橋の事故の影響で、大島地区の工事に支障をきたしている。柳井地区は、7月の豪雨により小災害が多く、規模の小さな建設業者は、市町村の災害発注に助けられている。災害工事は一過性の工事発注で、人員不足もあり、工期内完成が問題になってくると思われる。大島大橋の復旧工事は、大企業と水道工事専門の業者で、地元の業者は対応していない。	土木工事業 柳井市
	今月も7月の豪雨災害の復旧工事で忙しかった。昨年の工事高が少なかった所以对前年同月比で増加となった。	土木工事業 周南市
	受注高は、対前年同月比114.7%。今年度の累計は、対前年比168.1%	土木工事業 萩市
運輸業	輸送関係は、中近距離輸送は順調に車両が確保できたが、長距離輸送車両の確保が困難であった。広島県呉市の出荷先の荷受け不可が、出荷量減少の原因の一つと見られており、対前年同月比で0.6%の減少。油関係が4.3円の値上げ。	一般貨物自動車運送業 下松市
	輸送受注は、対前年同月比で約14%増加、順調に推移している。高い稼働で推移しているが、相変わらず乗務員不足は深刻な状況にあり、今後の展望が見えづらい状況にある。燃料費も一時落ち着いていたが上昇基調は否めないようだ。	一般貨物自動車運送業 防府市

	売上、収益の前年超が続いている。中途採用者の定着、高卒採用に苦戦している。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	売上は、対前年同月比で7.5%の減少。原因としては、相変わらずの不況が大きな幅を占めていると思われる。	一般旅客自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱金額は、前年比+3.0%(平成30年10月1日～平成30年11月20日分)。10月1日～31日分は+1.6%、11月1日～20日分は+5.1%。前年度も好調だった(+3.1%)ので、比較的堅調に推移している模様。10月分について当組合の取扱地区別に見ると、周南+1.2%、下松+1.9%、光▲1.8%、防府市地区が▲0.5%で、組合員の全域では+0.8%、地区外(員外)+18.6%で合計+1.6%(▲356千円)。10月分は、川岸工業(下松市)、JTBチケット(旅行信販)、VO善(NHK系報道取材)周南市体育協会(大相撲周南場所)、東洋鋼鈑(下松)などが前年比増加。山口チケットセンター(相互流通)、周南市競艇事業部、DCチケット(信販)、防府市選挙管理委員会、武田薬品光工場、泉原病院(周南市)などが減少。周防大島断水事故、JR在来線運休等や、大相撲周南場所など、臨時的な増加が目立つが、チケット1枚当たりの利用料金が増加しており、僅かだが景気の回復が感じられる。主要燃料であるLPGについては、CP(通告価格)と為替に連動して変動するが、CPが下がり(前月645.0\$/トンが今月590.0\$/トン、前年580.0\$/トン)、輸送用バンカーC重油は高騰(前月468.0\$/トンが今月507.0\$/トン、前年342.0\$/トン)。為替は円安(前月112.91円/\$が113.82円/\$)。燃料単価は前月より▲3.7%下がった。前年11月と比べると+2.6%となる。タクシー乗務員は慢性的に不足し、高齢化もあって実働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては、配車が大幅に遅れるような状況が続いている。年末の繁忙期だが夜の飲食関係は相変わらず低迷しているようで、まだまだ予断を許さぬ状況。	一般旅客自動車運送業 周南市
	取扱高は、輸出等が好調で増加した。	港湾運送業
その他非製造業	利用者に対し感染症などの注意が必要な季節となったのでしっかりと対応を考えていきたい。	介護事業